

■川辺一の米どころ

万之瀬川支流の神殿川は、ゲンジボタルや希少な淡水魚の生息地として知られ、川沿いの平野に田んぼが広がっています。神殿地区は、稲作の盛んな川辺の中でも「神殿米」として味の良いことで知られていました。昭和初期に下里と上里にため池が築かれ、さらに生産量が向上しました。中服良と上里には米を貯蔵するための石蔵が残っています。



■田代金山と瀬戸山の製鉄



神殿と野間の境にある「田代金山」は、戦国時代の永禄年間に発見された薩摩藩で最も古いとされる金山です。昭和20年代まで断続的に採掘されました。

瀬戸山の旧瀬戸山小中学校のプール跡周辺からは、製鉄の際の鉄滓が見つかります。「馬の地獄は川辺神殿 矢越の浜から砂負せる」と謡われたように、額娃の矢越浜から砂鉄が運ばれ、瀬戸山や軸屋、下里等でも製鉄が行われていました。

■新納氏私領地

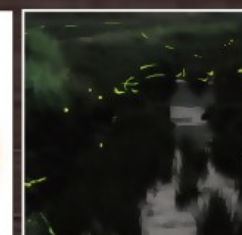
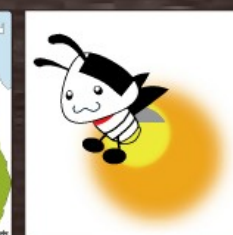
江戸時代に神殿村は薩摩藩重臣の新納氏の私領地となりました。菩提寺だった瑞朝寺跡には山川石製の宝篋印塔2基をはじめ江戸時代から明治時代の新納一族の墓石が残されています。中服良周辺には新納氏家臣の屋敷跡の石垣等が残されています。



神殿地区 地域の「お宝」マップ



神殿地区は南九州市の北部に位置し、古来より薩摩半島の交通の要衝で、旧石器時代以降の遺跡が分布しています。現在は南薩縦貫道や川辺ダムが整備され、豊かな自然を活かした農林業や鉱工業で栄えてきた地域です。



どんちゃん

神殿川のホタル



24宮ノ上遺跡



25堂園遺跡



26鳴野原遺跡

鹿児島県立埋蔵文化財センター提供

- ①神殿地区公民館
- ②神殿小学校跡
- ③神殿九玉神社・従軍記念碑
- ④瑞朝寺跡・宝篋印塔
- ⑤稲荷神社
- ⑥虎御前供養塔
- ⑦神殿下里の地藏尊
- ⑧馬頭観音(3ヶ所)
- ⑨神殿若宮
- ⑩石蔵(2ヶ所)
- ⑪神殿寺跡
- ⑫下里のため池
- ⑬下里の庚申供養塔

- ⑭田代金山・金山神社
- ⑮巖上観音
- ⑯ココロドン
- ⑰上里の田の神
- ⑱上里のため池
- ⑲軸屋観音堂
- ⑳瀬戸山小中学校跡
- ㉑瀬戸山製鉄遺跡
- ㉒水神と火の神
- ㉓下里の滝
- ㉔宮ノ上遺跡
- ㉕堂園遺跡
- ㉖鳴野原遺跡